



◆事業概要

1 中学校区の現状と課題

東海中学校区では、これまで学校と地域が密接に連携しており、子ども達も落ち着いた姿を見せています。一方で、子ども達は少人数で過ごすため、人間関係が固定化し、トラブルがあってもうまく解決できなかったり、自分の気持ちがうまく伝えられなかったりすることが少なくありません。また、厳しい家庭環境のもとで暮らす中で、自尊感情が低く、学力の定着に課題のある子どももいます。

このような状況の中、子ども達が自分に自信を持つこと、豊かな人間関係を構築する力を育成していくこと、自己の将来に夢を持ち、日々の学習に対する意欲等を高めていくことが課題として挙げられます。

2 課題解決のための主な取組

(1)「学習意欲向上」の取組 ～地元高校生による支援「先輩から学ぶ」～

土曜授業を活用して、今春に東海中学校を卒業した高校1年生を母校に招き、中学生が「先輩から学ぶ」機会をもちました。高校生である8人の先輩が、進路決定を控えた中学3年生に対して、中学校生活の振り返りやそれぞれの高校の特徴、高校生活について話しました。また、在校生から高校生に対して、「どのように進路を決定したのか」「受験勉強の時にイライラしたらどうしていたか」「どれくらい勉強していたのか」というような日頃悩んでいることや疑問に思っていることについて質問し、先輩たちが詳しく答えました。中学生は、どんな話が聞けるのかと期待を胸に、高校生の実体験を通した話を真剣な表情で聴いていました。中学生にとって、進路を自分の問題として考えるととても有意義な時間となりました。



「先輩から学ぶ」の様子

(2)「自尊感情高揚」の取組

①ふれあいフェスティバルの開催

中学校区の子ども達が、地域住民や保護者とふれあい、ほめられることにより、コミュニケーション力や自尊感情を高めていく機会となるよう、ふれあいフェスティバルを開催しました。全校児童によるもちつき大会とふれあい活動では、保護者、自治会、老友会の支援を受けて、体験活動を進めました。会場には、約200人の参加者が集まり、子ども達は、「昔からある遊び」「料理」「もちつき」等の活動の講師から、熟練の技を教えていただきました。参加した児童からは、「料理ができてうれしかったです。ほめられてうれしかったです」などの感想がありました。



昔からある遊び
活動の様子

②敬老会・地域住民とのふれあい

中学校区内の地域では、敬老会の活動が活発であり、高齢者の方々と子ども達がふれあい、高齢者の生き方に学ぶことを通して、地域の良さを理解し、自尊感情を高めることをねらい、取組を進めました。浜掃除、地域住民とふれあう会、わらじづくり、グランドゴルフ等に取り組み、地域住民からは、「上手やなあ」「すごいなあ」と声をかけてもらい、子ども達の自信につながりました。

◆実践を振り返って

中学校区において実施した調査の結果では、子ども達の自尊感情や学習意欲の向上が見られました。これまでの様々なネットワークの取組や地域住民からの話を聞いたり、ほめられたりする日常的な係わりによって、将来の夢を描きにくい子ども達が、自尊感情を高めることができました。また、自分の将来について深く考える機会が、学習意欲を高めることにつながっていきました。課題としては、中学校区の実態や課題を整理し、課題解決のための取組を進めてきましたが、一人ひとりの子どもにおいては、依然として自尊感情や学習意欲を十分に高めることができていない実態があります。また、子ども達の気になる状況として、家庭での過ごし方において、携帯やゲーム等で過ごす時間が多いことや、LINE等を介して子ども達のトラブルが挙げられます。今後も課題を整理し、地域住民や保護者とこれまで以上に協働し、子ども支援ネットワークの活動をさらに工夫し、発展させていくことが必要だと考えています。